

平成29年度第1回地方独立行政法人福岡市立病院機構評価委員会 議事録

日 時	平成29年7月10日(月) 12:55~15:01	
場 所	天神スカイホール ウェストルーム	
出席者	委員	浜の町病院 院長 一宮 仁 福岡市医師会 副会長 寺坂 禮治 福岡県看護協会 会長 花岡 夏子 九州大学大学院医学研究院 准教授 福田 治久 公認会計士 行正 晴實
	事務局	福岡市保健福祉局長, 同理事, 同健康医療部長, 同医療事業課長
	病院機構	理事長, 副理事長, 運営本部長, 法人運営課長, 福岡市立こども病院事務部長, 同総務課長, 同医事課長, 福岡市民病院事務部長, 同総務課長
次 第	1 開会 2 局長挨拶 3 委員紹介等 4 議事 (1) 委員長・副委員長の互選 (2) 平成29年度評価委員会の進め方について (3) ①平成28年度財務諸表等について ②平成28年度財務諸表の承認にあたっての意見について (4) ①利益の処分について ②第2期中期目標期間の積立金の繰越承認にあたっての意見について (5) 平成28年度業務実績について 5 その他	
配付資料	資料1 平成29年度地方独立行政法人福岡市立病院機構評価委員会の進め方 資料2 地方独立行政法人福岡市立病院機構 財務諸表等 資料3 地方独立行政法人福岡市立病院機構平成28年度決算について 資料4 地方独立行政法人福岡市立病院機構 平成28年度に係る業務実績報告書  参考資料1 地方独立行政法人福岡市立病院機構 年度業務実績評価実施要領 参考資料2 地方独立行政法人福岡市立病院機構 平成27年度の業務実績に関する評価結果報告書 参考資料3 地方独立行政法人福岡市立病院機構 中期目標期間評価実施要領 参考資料4 地方独立行政法人福岡市立病院機構の第1期中期目標に係る事業報告書及び業務実績に関する評価結果報告書 参考資料5 平成28年度業務実績報告における各小項目の自己評価結果一覧	

### (1) 委員長・副委員長の互選

【委員長、副委員長を委員の互選により選出】

### (2) 平成29年度評価委員会の進め方について

#### ○事務局

【資料1について説明】

### (3) ①平成28年度財務諸表等について

#### ○病院機構（運営本部）

【資料2について説明】

#### ○委員

第3期中期計画を作成した際のベースになっている市民病院の収支などは、今期の実績に近いような形になっているのでしょうか。

#### ○病院機構（市民病院）

その前に、平成28年度の当院の状況をご説明した方がよからうかと思えます。

経常損益が減少した原因につきまして、医業収益の対前年の金額がマイナス2億4千万円余となっている部分がございますが、このうちの2億分が外科の減収でございました。

単一の特筆すべき原因によりマイナスとなっておりますが、人事異動により副院長と外科部長が転出し、2人の外科の看板がいなくなったことにより、外科の新規入院患者数が減り、診療単価が下がったものでございます。

減収の原因がはっきりしておりますので、これに対する対策は既に打っており、平成29年度は外科の方も順調に平成27年度並みになってきております。従いまして、それを成し得るものという判断のもとに、第3期は今まで通りの考え方で計画を立てた次第でございます。

#### ○委員長

こども病院は前年に比べて素晴らしい医業収益の増収ですが、何か原因があったのでしょうか。

#### ○病院機構（こども病院）

特に集中治療系を充実させましたところ、新生児の手術件数が増えまして、増収となりました。

#### ○委員長

患者数はいかがですか。

#### ○病院機構（こども病院）

患者数は全般的に増加しておりまして、高度専門医療の部分と救急医療の方も順調に増

えておりますし、新生児に関しまして救急車による迎え搬送も行っておりますので、患者数が増えております。

○委員

市民病院の新規入院患者数の平成27年度の実績値が目標値に未達成となっている部分についても、外科の患者さんが減ったという理解でよろしいでしょうか。

○病院機構（市民病院）

大部分を占めております。

○委員

市民病院の手術件数の所を見ますと、件数自体は減少しているようには見えないのですが、単価の高い手術が減少したということでしょうか。

○病院機構（市民病院）

それもございます。外科の方ではそういう傾向にございました。ただ、手術件数は全科の件数でございまして、カテーテル治療による手術件数も増えておりますので、例えば脳卒中センター、循環器内科といったもので数的には増えております。

(3) ②平成28年度財務諸表の承認にあたっての意見について

○事務局

【当日配付資料により説明】

(4) ①利益の処分について

○病院機構（運営本部）

【資料3について説明】

(4) ②第2期中期目標期間の積立金の繰越承認にあたっての意見について

○事務局

【当日配付資料により説明】

(5) 平成28年度業務実績について

○病院機構（運営本部）

【資料4について説明】

○委員

「第2-2-(1)患者サービスの向上」について、市民病院の自己評価は3になっており、こども病院は4になっていますが、市民病院の「患者満足度調査における平均評価点数」の実績値は、こども病院の実績値の88.4点よりも高く、90.6点となっておりますので、市民

病院の評価を4に上げていいのではないかと思います。

**○委員長**

市民病院の「通訳用タブレット端末」とは何ですか。電話通訳のようなものでしょうか。

**○病院機構（市民病院）**

テレビ電話による通訳サービスのための端末で、翻訳機能を有しております。現在、5か国語対応のものを1台用意しております。使用実績はございませんが、準備だけはしております。

**○委員**

待ち時間の短縮についても、平均1分間の短縮というのはなかなかできるものではないと思います。

**○病院機構（市民病院）**

ありがとうございます。昨年度も、自己評価を3としていたところを、4に上げていただいたところでございます。

**○委員**

Q Iプロジェクトとして配付資料をいただいておりますが、これは以前からずっとやっていたものなのでしょうか。

**○病院機構（市民病院）**

新しく今回作りましたものでございまして、既にホームページには掲示させていただいております。

**○委員**

先程の満足度調査が90.6点と高いということに加えて、今年度、臨床指標を新しい指標として作成されており、病院としてはかなり労力をかけて作成されているかと思いますし、それを公開されているということも鑑みると、評価4というのは適切なのかと私も考えます。

**○委員長**

市民病院での認定看護師の認定を盛んに取らせているようですが、この人数についてはどうなのでしょう。

**○委員**

市民病院の職員の数やベッド数からすれば、多いと思います。よく行かせていると思います。

### ○委員長

認定看護師について、何かインセンティブは考えられているのでしょうか。

### ○病院機構（市民病院）

認定看護師の資格取得支援策として、資格取得に係る教育課程受講料の半額を助成しております。また、これまでに患者の皆様からいただいた寄付金を積み立てた「福岡市民病院研究基金」約8,000万円を原資として無利子での貸し付けもいたしております。

### ○委員

認定看護師の資格取得は期間が長く、7～8か月間ありますので、支援している病院、半額負担の病院、されていない病院などさまざまあると思いますが、このように数を増やしていただいているというのは、認定看護師や専門看護師の力量が上がり、ケアの質が良くなっている、そこに結びつくので皆さん認めていただいていると思いますので、とても嬉しく感じています。

### ○委員長

市民病院のメディカルラリーは、3連覇なのでしょうか。

### ○病院機構（市民病院）

メディカルラリーは10回ございましたが、そのうち9回しか出場しておりません、1回は平成21年の新型インフルエンザにより出場できませんでしたが、9回のうち4回優勝しております。

### ○委員長

病院の規模からすれば、4回優勝というのは素晴らしいですね。

### ○病院機構（市民病院）

ありがとうございます。ドクター2人は、研修医の1年目と2年目を出場させておまして、特訓いたしております。

### ○委員長

熊本市市民病院との特別な協力関係はあったのでしょうか。

### ○病院機構（市民病院）

震災直後に看護師の受入れをこども病院共々いたしております、市民病院の方へは9名受け入れております。

### ○病院機構（こども病院）

ヘリコプターあるいは救急車で土曜日の早朝から受け入れております。こちらからも小児科学会の活動として援助に行っております。

## ○病院機構（市民病院）

九州の自治体病院の中に各県の支部長病院がありますが、支部長病院において災害時の相互応援協定を締結いたしまして、その協定に基づいて即行動できた第一例ということで、全国自治体病院協議会の方でも高く評価された次第でございます。

## ○委員

こども病院については、移転前に色々と不安視されたこともありました。データを拝見しましても、経営も勿論ですが、急患の受入れ等、人材を確保されて内容も充実しておりますし、目標どおり市民病院を超えて、もっと広い領域のこども病院として、どんどん発展されていると実感できますので、「第1医療サービス」のどこかを評価5にしてもよいのではないかと思いますのですが、いかがでしょうか。

## ○委員長

私も初めにそう思いました。「第2-1-(1)良質な医療の実践」を評価5として問題ないのではないかと思います。どうでしょうか。

## ○委員

私もそう思いますし、救急搬送、救急受入については、移転した後、マイナス要素が起こっていないですか、院長の指示のもと、救急を断らないという体制を整備されているということもありますので、移転前に不安視されていたことが現実には何も起こっていないということ等々を考えると評価5でいいのではないかと思います。

## ○委員

私もどこかで評価5があればと思って見ていましたが、「第5-1新病院の整備及び運営に関する取組」で、川崎病センターの成果など色々なことを総合的に勘案されて、昨年評価4であったところを評価5に上げられている。評価5というのはよほど特筆すべきということで、大元の診療から何から全てを5と評価するのは、私はなかなか難しいのではないかと思います。なので、一部に限って高く評価したうえで、他も勘案すると評価5とされている自己評価のあり方がどちらかというといいのではないかと思いますので、「第5-1新病院の整備及び運営に関する取組」を評価5にする方がいいと思います。

## ○委員長

私は、「第5-1新病院の整備及び運営に関する取組」の評価5は、全体的に病院の施設整備等々を含めて上手く行ったということでの評価で、「第2-1-(1)良質な医療の実践」については、実質的な医療の内容についての評価であり、実質的に内容が良くなったために、治療の質やレベルを高度にし、患者さんが集まり、点数も高くなった結果、11億の増収になったというところで、医療の中身ということで「第2-1-(1)良質な医療の実践」も評価5としてよいのではないかと思います。

「第2-1-(1)良質な医療の実践」で実績を上げたがために、「第5-1新病院の整備及び運営に関する取組」の結果が出たという風に思います。

## ○委員

私も「第2-1-(1)良質な医療の実践」については、評価5に相当するよう感じたところでもあります。評価項目が「第5-1 新病院の整備及び運営に関する取組」のところと5とする判定根拠が両方とも同じような内容になってしまいますので、そのような評価で問題ないということであれば、「第2-1-(1)良質な医療の実践」についても評価5でいいのではないかと思います。

## ○委員長

川崎病センターというのは、どこでも、こども病院にはあるのでしょうか。

## ○病院機構（こども病院）

センター化したのは初めてです。

## ○委員長

そのようなところもオリジナリティーがあると思います。

## ○病院機構（こども病院）

アメリカにはありますが、日本がなかったものですから、日本で初めて作ったものでございます。

## ○委員

私も「第2-1-(1)良質な医療の実践」の部分は評価5でも良いのかと思っているのですが、「第5-1 新病院の整備及び運営に関する取組」のところは、その他業務運営に関する重要事項ということで、コメントが同じような文言になってしまいますので、問題が起きないかと思っています。それよりも、「第2-1-(1)良質な医療の実践」のところのデータを一つ一つ見て行きますと、平成27年度に比べるとどのデータも良くなっています。もう少し具体的な質のところを「第2-1-(1)良質な医療の実践」のところでは自己評価の内容にされて、「第5-1 新病院の整備及び運営に関する取組」のところはこの内容で残されるのであれば、いいのではないのかと思います。

## ○委員長

むしろ、「第5-1 新病院の整備及び運営に関する取組」のコメントが新病院の整備や運営、マネジメントについての評価にすればよいのではないのでしょうか。

## ○事務局

一点補足させていただきます。「第2-1-(1)良質な医療の実践」の評価4から評価5に上げるという部分に関してですが、年度評価につきましては、年度計画に基づいて実施した成果について評価いただくというのが基本スタンスとなります。年度計画に基づいた平成

28年度の目標値と平成28年度の実績値を比較してご覧いただいた時に、全ての項目が上回っているという状況にはなく、もちろん、平成27年度との実績値の比較というものもあるのですが、基本的に、本評価委員会での評価につきましては、年度計画に基づいて実施されているかどうかという視点でご評価いただきたいと思いますので、その時に、過去、評価5を付けていただいたのは、平成26年度の新病院開院のところが唯一でございました。その点を勘案して再度ご確認いただければと思います。

#### ○委員

評価基準の年度計画を大幅に上回っているというのが評価5だと思います。

#### ○委員長

そのとおり、大幅に上回っていると思います。例えば診療単価が96千円から10万円ですよね、5千円ほど上がっています。これは大幅上昇だと思います。外来単価はそうないにしても、あまり重要視する必要はないかと思いますが、新規の入院患者数が前年を300人ほど上回っていますし、在院日数はかえって短くなっている、これもいいですね。そして、救急搬送件数も150件ほど上回っている。1年間でこれだけ上がるのは大幅アップだと思います。

#### ○委員

目標値が達成されていない場合でも、経営が大幅に改善していたりすると、評価が上がることもありますので、評価5という提案をさせていただいた次第です。

#### ○委員

「第2-1-(1)良質な医療の実践」と「第5-1新病院の整備及び運営に関する取組」が同じ内容で評価5となりますが、この部分はいかがでしょうか。

#### ○委員長

私もそう思います。「第5-1新病院の整備及び運営に関する取組」を評価5とする内容については、設備を良くした、あるいはマネジメントを良くしたという評価をすれば良いと思います。

#### ○委員

「第5-2福岡市民病院における経営改善の推進」ですが、九州で初のMERSの疑似症例患者の受入れや、先程から言われている熊本地震の対応、公立病院経営改革事例集での紹介などから見ると、昨年が自己評価4で今年が自己評価3となっていますが、今年も評価4でいいのではないかと思います、いかがでしょうか。

#### ○委員長

私も同じ部分で評価を上げてはどうかと考えていましたが、みなさんはいかがでしょう。

項目としては、経営改善の推進となっているものですからね、そこは謙虚に経営改善と



いう意味では自己評価を3とされたのかなと思いつつながら、そうは言いながらも、実施状況に書かれていることを見ると、やられていることは非常に公立病院として立派なことをされていると思います。市民病院の規模ではなかなかできないことだと思います。

#### ○委員

経営改善の推進となっていますから、少し違うのではないのでしょうか。

#### ○委員

「第2-1-(1)良質な医療の実践」の部分は、おそらく経営に関して先程説明があったような事情がありましたので、自己評価は3でやむを得ないのかなという感じでつけられているのではないかと思うのですが、そこを除けば、実際の質的な面などについては、評価4のレベルなのではないかと思っていますが、その部分をどのように評価するのかということがあると思います。

#### ○委員

私もそうと思いますが、評価を受ける際は、その項目に経営改善の推進と書かれていると、先程のように大幅改善が評価5、目標値を達成しているだけならば評価3ということであれば、評価3にしかならないのかなと思います。

他の部分で評価を上げられたらいいのですが、医療サービスに係る自己評価は4となっていますので。

#### ○委員長

「第2-1-(1)良質な医療の実践」は自己評価3になっていますね。

#### ○委員

そうですね、その部分の評価が上がればいいのかも知れないですね。

#### ○委員長

「第2-1-(1)良質な医療の実践」の実施状況等書かれている内容は、委員の方々も分かると思いますが、内容は先端を走っている病院で、第一流の医療技術を導入していますので、ここは評価3ということはないでしょうね。

#### ○病院機構（市民病院）

自己評価にあたりましては、目標値に対する到達度を定量的に評価するのが、評価のあり方でございますので、「第2-1-(1)良質な医療の実践」は、平成28年度の目標値に対しまして、平成28年度の実績値が到達するものが少なかったという理由の元に自己評価を3とさせていただいている次第でございます。

むしろ、「第5-2福岡市民病院における経営改善の推進」の方が定量的な考え方ではなく、総括的な評価としていただければ、そちらの方が病院機構といたしましても、評価基準にはマッチするのではないかと考えております。

## ○委員

確かに「第 5-2 福岡市民病院における経営改善の推進」は、数値はないのですが、経営改善と言われると、場合によっては評価 2 とつけられることもありますから、経営改善について評価を 4 とするのは少し引かかる部分ではあります。

## ○委員

「第 5-2 福岡市民病院における経営改善の推進」の実施状況等の部分を見る限りは、評価が 4 でもいいのかなと思ったのですが、年度計画の最後の部分に、医療収支の更なる改善に努めるという目標を掲げていますので、医業収支の状況の数値を見るに、更なる改善は達成できなかったのかなという風に思います。その理由としては、マネジメントのコントロール外によるものであったとは思いますが、目標として医業収支の改善と書かれてしまった以上、数値として上がっていないので、評価は 3 が適切かなと考えます。

## ○委員

先程の病院機構からの説明にもあったとおり、数値で示すところの評価については、「第 2-1-(1) 良質な医療の実践」は評価 3 として、「第 5-2 福岡市民病院における経営改善の推進」については、経営的には良くなかったのかも知れないけれど、これから経営改善をしていくというところで、色々取り組まれていることを評価して、この部分は評価 4 でもいいのではないかと思います。

## ○委員

市民病院としてのミッションをきちんと果たしているということの評価がどこかで入っておかないという思いで申し上げた次第です。

## ○委員

「第 5-2 福岡市民病院における経営改善の推進」については、経営改善というテーマですから、そこが難しいのではないかと思います。市民病院の機能そのものをここでお示ししているのではないかと思います。

その他
-----

○委員長

次回の委員会では、本日、皆さんからいただきました意見等を踏まえて、平成 28 年度の年度実績について委員会としての評価案を提示させていただきます。この評価案をご確認いただきたいと思います。

また、今回は第 2 期の 4 年間の実績に関する評価も予定されているところでございますので、ご協力よろしく申し上げます。

○事務局

【第 2 回の日程等について説明】

それでは、本日の委員会は、これで終了させていただきます。